科目名	看護の統合と実践方法	講師	専任教員
履修時期	3年　後期	単位数	2
		時間	30

＜科目設定理由＞
看護を取り巻く環境は、慢性疾患の増加、少子高齢化、医療技術の進歩等大きく変化し、患者の視点に立った質の高い看護の提供が求められている。臨床での実践に適応できる問題解決能力や看護実践能力を備えた、対象の置かれている場・状況・状態に応じた看護を実践できる看護師が求められている。組織における看護師の役割を理解すること、チーム医療の中で他職種と協働し、看護師としてのメンバーシップやリーダーシップを理解し看護がマネジメントできること、既習の知識・技術の統合を図るとともに、看護の専門性、ケアの質の向上を追求する態度を身につけ、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力の習得が必要である。

学習目標	1. 看護をマネジメントできる基礎的能力を養い、看護業務を行う一員としての役割や責任について理解する 2. チーム医療及び他職種との協働の中で、看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する。 3. 既習の知識・技術を統合し臨床現場で看護実践できる基礎的能力を身につける 4. 看護実践における組織の実際や方法について学び、看護師としての責任と自覚を持つ。
学習内容	Ⅰ. 医療チームの中での看護師の役割 1. 看護部の組織としての特徴と活動内容 2. 病院組織で看護部門に期待されている役割 3. 看護管理における報告の必要性と報告内容 4. 看護体制の種類と方法 5. 医療者としてのマナー 6. 看護チームでのコミュニケーションの意義と方法 7. 患者の基礎データ把握の目的とデータの意味 8. 診療記録、看護記録、申し送りからの情報収集の意味 9. 1日のスケジュールの立案方法 10. 業務時間の管理の目的と方法 11. 多重課題の意味と危険性 12. 看護現場における多重課題 13. 多重課題への優先順位のつけ方 Ⅱ. 多重課題における看護 演習
授業形態	講義、事例を用いた演習
評価方法および評価の観点	パフォーマンス評価
テキスト	
参考資料・図書	医学書院　看護学概論
履修上の留意事項・受講条件	